

CADPACCREATOR 2D Ver.14.0

CADPAC-CREATOR 2D Ver.14.0 新機能リスト

■ 汎用機能

1. 図面タイトルバー.....	2
2. 出図.....	2
3. DXF・DWG 入出力.....	3
4. DXF・DWG 出力.....	3
5. 点.....	3
6. 方眼.....	3
7. 表作成.....	3
8. オフセット.....	4
9. システム設定・キー定義.....	4

■ 機械オプション

1. ボルト・ナット.....	4
2. タップ.....	4
3. 深ざぐり.....	5
4. 台帳出力.....	5
5. QR コード作図.....	5
6. QR コード編集.....	5

■ 外部データ貼付オプション

1. データ貼付.....	6
---------------	---

■ 電子納品支援オプション

1. 電子納品支援.....	6
----------------	---

■ 廃止機能

1. スキャナ入力.....	6
2. ラスター / ベクター変換.....	6
3. NDLICSVR.exe.....	6

Ver.14.0 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.14.0 で追加・拡張・変更・削除された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.13.5 からの差分です)
[***/*]** は、該当のオンラインヘルプです。

汎用機能

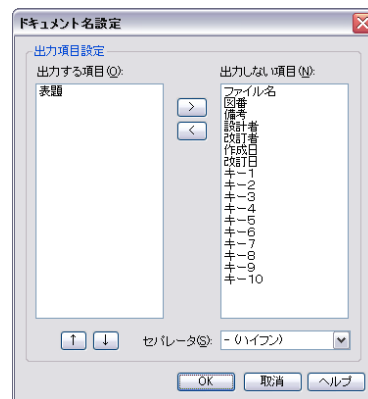
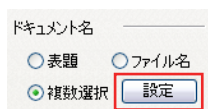
1. 図面タイトルバー

ウィンドウのタイトルバーに、DB 番号が表示されるようになりました。
DB 番号とは、本システムに展開されている図面を順番に番号をつけたものです。
DB 番号の一覧は、図面ウィンドウのタイトルバーを右クリックすると、ポップアップメニューで表示されます。
DB 番号は覚えておくと、[DB 番号 + PageDown] でアクティブ図面をワンタッチで切り替えることができるので便利です。
DB 番号は数字のみ表示します。半角空白をはさみ図面の表題が表示されます。
[基本操作 1/ 図面タイトルバー]



2. 出図

出図ドキュメント名を指定する際、任意の図面属性を複数組み合わせられた形式の文字列が渡せるようになりました。
[環境設定] ダイアログボックスから「その他」を選択し、その他設定項目の「ドキュメント名」から「複数選択」ラジオボタンを選択してください。
[設定] をクリックすると、各図面属性から名称として出力したい項目を選択できるダイアログボックスが開きます。各文字列の間にアンダースコアやハイフンを挟むことも可能です。
[ファイル / 出図]



3. DXF・DWG 入出力

AutoCAD2012 に対応しました。
 [ファイル / 外部入力 / DXF・DWG 入力]
 [ファイル / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

4. DXF・DWG 出力

図面のレイヤー名に、DXF・DWG のレイヤー（画層）名として使用できない禁止文字が含まれていた場合、自動的に「-（ハイフン）」に置換して出力する処理を加えました。

DXF・DWG のレイヤー（画層）名として使用できない禁止文字は以下の 13 文字です。

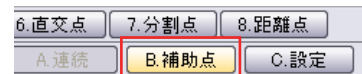
「>」「<」「/」「¥」「”」「:」「;」「?」「*」「|」「,」「=」「`」

[ファイル / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

5. 点

点コマンドで補助点要素を作図できるようになりました。
 CSB に [B. 補助点] が追加されています。

[作図 / 点]



6. 方眼

CSB[9. 横分割][0. 縦分割]で「1」が指定できるようになりました。

[作図 / 定型 / 方眼]



7. 表作成

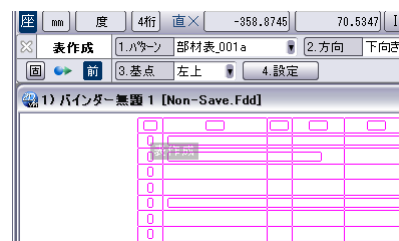
表作成は、Excel のテキストデータを取り込んで、あらかじめ設定された作表パラメータにより、表を作図する新コマンドです。会社で使用される定型的なフォームの作表に便利です。設定で 1 行の高さ、項目別の幅、文字スタイル、表枠の線スタイル、並び順（上から / 下から）など、細かなパラメータを指定できます。

[作図 / 定型 / 表作成]

A	B	C	D
1	番号	品名	材質 個数
2	1	カッター ボディー	S45C 1
3	2	チェンジギヤー	S45C
4	3	キャリヤギヤー-A	S45C 1
5	4	キャリヤギヤー-AA	S45C 1
6	5	下部スタット	S45C 1

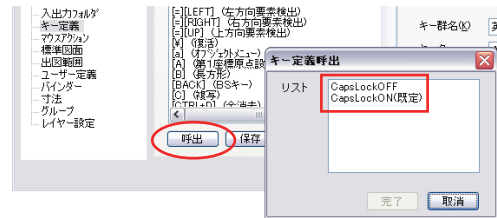
作表する Excel のファイルを開き、作表部分をドラッグしてコピーする。

表作成コマンドを起動



作表用の設定を呼び出し、図面に配置する。

8. オフセット [5. 単要素] で要素を指定したとき、重複要素がない場合に [Y/N] 確認ボックスによる要素選択確認が省かれるようになりました。
[作図 / 面処理 / オフセット]
9. システム設定・キー定義
ダイレクトキーの設定を保存・呼出できるようになりました。規定値リストには以下の2種類があります。
CapsLock OFF : 小文字主体
CapsLock ON (既定) : 大文字主体
[補助 / システム設定 / キー定義]



機械オプション

1. ボルト、ナット
「六角ボルト／上形と中形」「CAPボルト」「六角ナット／上型」の細目設定時、細目で作図できない呼び径を指定すると、ねじ目ボタンが自動的に並目オンに切り替わるようになりました。
このとき、切り替えを知らせる注意メッセージが設定ダイアログボックスに表示されます。
[オプション / 機械 / 機械定型 1 / 六角ボルト]
[オプション / 機械 / 機械定型 1 / CAP ボルト]
[オプション / 機械 / 機械定型 1 / 六角ナット]



2. タップ
[5. 呼び径] のリストに M1.0, M1.2 が新たに追加されました。
また、項目名を以下のように変更しました。
・「外形部」→「谷の径」
・「ねじ部」→「内径」
[オプション / 機械 / 機械定型 1 / タップ]

3. 深ざぐり [6. 呼び径] のリストに M1.6, M2.0, M2.5, M33, M39, M45, M52, M56, M64 が新たに追加されました。
[オプション / 機械 / 機械定型 3 / 深ざぐり]

4. 台帳出力 合計の集計結果に加え、別ファイルとしてファイル単位の集計結果を出力できるようになりました。
[7. ファイル単位] をオンにすると機能が有効になります。
[オプション / 機械 / 部品台帳 / 台帳出力]



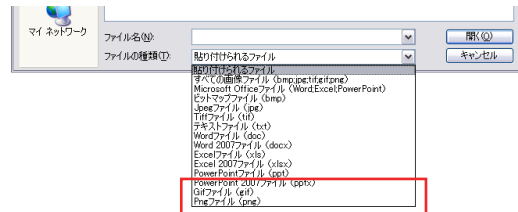
5. QRコード作図 QRコードをCADPAC 図面上に作図します。数字・英字・漢字・カナ・ひらがな・記号等あらゆる文字データをひとつのコードに格納することができます。
[オプション / 機械 / 機械設計 / QRコード作図]



6. QRコード編集 CADPAC 図面上に作図された QRコード要素の情報を編集します。
[オプション / 機械 / 機械設計 / QRコード編集]

外部データ貼付オプション

1. データ貼付 「gif」「png」形式の画像が新たに貼り付けられるようになりました。
[オプション / 外部データ貼付 / データ貼付]



電子納品支援オプション

1. 電子納品支援 最新の CAD 製図基準「土木 200805-01」に対応しました。
[オプション / 土木系 / 電子納品支援]

廃止された機能

1. スキャナ入力 カラーラスターのコマンド、「スキャナ入力」が廃止されました。
2. ラスター / ベクター変換 カラーラスターライトの機能「ラスター / ベクター変換」が廃止されました。
3. NDLICSVR.exe ネットワークライセンス、NDLICSVR.exe が廃止されました。